

# 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

10月29日(土)に台中から霧社に行ってきました。『セディック・バレ』の映画を観たことは書きました。その「霧社事件」の場となったところを訪ねました。墓があっただけです。といっても公園になっていて、原住民と日本軍が戦った、ということが書いてありました。他のグループで、原住民の方が案内役になって説明していました。案内役が観光で訪れた台湾人に「セディック・バレ」を観ましたか?と聞いて、そうしたら、ほぼ、全員20人くらいが手を挙げていました。私たちは、ガイドと一緒に行ったのですが、当時のものや雰囲気はほとんど残っていないとのこと。しかし、台中の知り合いに聞いたら、「第二霧社事件について話をしてくれる人を知っている」とか「近くの温泉付近で最後亡くなったんだ」とか言っていました。ちゃんと調べて、もう一度挑戦です。そのまま、日曜日に台中周辺をまわってきました。烏山頭のように台中の平原を潤すことに尽力した八田與一の後輩の磯田という方の業績を訪ねてきました。山を越えて大きな水道管のようなものが、甘蔗の栽培に大いに役立ち、新社のきのこ栽培にも大いに役立っているということでした。周辺の地形を見たら河岸段丘ですので、上流から水を引くなどしないと、植物栽培をしにくい地形でした。また、案内してくれた方のお母さんがマラリヤになって、日本人の医者に助けもらった。とその水道管と自分の家族に関して感謝していると話をしていました。もう一つ、愛媛県の山岡という先生が烏山頭ができた年と同じ年に、氾濫しかけた川の中州に取り残された台湾人の子どもを助けようとして流され、亡くなったという事件がありました。山岡先生をまつた碑を訪ねてきました。

## 10月3日(月)

やはり秋なのでしょう。ずいぶん中庭に葉っぱが落ちています。上の文のように土曜日高鉄に乗っていたら、黄色い花をみました。なんと、菜の花。日本では春じゃないか。「そういえば、ススキを1ヶ月くらい前にいっぱい見ました。」と言ったら、「ススキは夏です。」と台湾の方。先生方が赤とんぼも中庭のゴムの木に群れています。???です。台湾からツバメが3・4月からいなくなるそうです。日本では春になるとツバメがやってくる、のだそうです。台湾のツバメがそっくり日本にくるわけではないでしょうけど・・・。

## 11月1日(火)

P T Aまつりの品物がバス経由、直接持参、さらに、台湾人も含めて現金での寄付。ありがたい話です。

## 11月2日(水)

業間に避難訓練がありました。今回は、予告なしで家庭科室から火事が起きたという想

定で訓練を行いました。放送終了後、近くの先生の指示でグラウンドに逃げるという想定でした。教員は想定しての動きですので、私は、放送終了と同時にグラウンドに入りました。そうしたら、サッカーをしていた4年生5年生の15人くらいがすぐに私のところに寄ってきました。私は「訓練です。落ち着いて。みんながこれからグラウンドに避難してくるので先に黙って並んでください。」みんな落ち着いて行動していました。全員避難まで2分58秒でした。吉原教諭が企画担当でした。子どもたちに、『実際に起きるとパニックになることもある。中学生が小学生を落ち着かせることも出てくる。先生方は消火に行く場合も出てくる。』続いて、私は、『新潟で実際火事が起きて890人が一枚のドアから避難したことがある。それも、雪が3メートルも4メートルもあり、踏んでいないグラウンドへの避難でした。高雄の場合は、校門にまちがって車が突っ込んで、今の避難ルートを使えないこともある。裏は逃げ口が一カ所しかない、そういうこともあるので、今日のように放送をよく聞いて動いて欲しい。』と話をしました。

### **1月3日 (休) 日本は文化の日**

3年生の社会科と総合的な学習の時間の見学と体験に引率してきました。三民区の警察署と前鎮区のレストラン（庶民的な）です。警察は、働く人がどんなところに気をつけて仕事をしているかを知るものです。社会科の基礎になるところです。お店やそれぞれの興味のあるのは、夏休みの宿題にしました。それを基に行いました。

### **1月4日 (金)**

中山大學大学院で学ぶ現職の先生方が視察にきました。昨日は、交流校の教務主任の先生が打ち合わせにきて、「校長が、日本人学校の運動会を見て、感動して、自分の学校にも取り入れたいと言って、職員会議を開きました。」と、言っていました。また、普段、本校に寄付などをしてくれるロータリークラブからも視察をお願いしたい、とありました。

私たちが当たり前に行っていることが、他の国からはずいぶん参考になるようです。同様、私は台湾の世界的学力調査の結果を見ると、いわゆる「落ちこぼれ」の割合が少ないのです。「落ちこぼし」をつくらない秘密を探りたいと思っています。学力が高いフィンランドでは、ボランティアで学習が遅い子どもに対応し、すぐできる子どもにはインターネットを使って他校の先生とやりとりをすすめていました。新潟大学から12月はじめに、その秘密の調査にきます。高雄で3校、大学の教授への聞き取りを3教授、その調査の一部に加わります。何か見えてくるかもしれません。

※来週は、火曜日から校長会でいけませんので、発行できません。